

特別企画 : 【福島県】 ネット銀行との取引に関する企業の動向調査

県内企業の 29.9% が「ネット銀行」利用 ～ 企業規模が小さいほど割合高く、魅力は「低コスト」～

実店舗を持たず、インターネットを介した取引で金融サービスを提供する「ネット銀行（新形態の銀行）」の利用が個人および企業の間で年々拡大している。

これは、インターネットバンキングの普及が加速しているなか、ネット上での取引が可能、かつ手数料や利用料が比較的低いことなどがその背景にあげられる。

そこで、帝国データバンク郡山支店は、ネット銀行との取引に関する企業の動向について調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2023 年 2 月調査とともにを行った。

※調査期間は 2023 年 2 月 14 日～2 月 28 日、調査対象は福島県 329 社で、有効回答企業数は 117 社(回答率 35.6%)

～調査結果（要旨）～

1. ネット銀行と『取引している』企業は 29.9% となった。一方で、「取引していない」は 66.7% となった（表 1 参照）
2. 「大企業」では、ネット銀行と『取引している』企業は 18.2% と全体を下回った一方「中小企業」は 31.1%、「小規模企業」は 41.2% で全体より 11.3 ポイント高い。従業員数別でも、「5 人以下」、「6～20 人」、「21～50 人」は 3 割超となっており、規模が小さい企業ほど割合が高まっている（表 2 参照）
3. 業界別では『運輸・倉庫』が 5 割を超えており、次いで、『小売』の取引割合が 4 割を超えている（表 3 参照）
4. 創業・設立から「10 年以上」の企業における取引割合が各 3 割を超えており、「100 年以上」の企業でも 3 割を超えるなど、老舗企業においても利用が浸透していることがわかる（表 4 参照）
5. 社長の年齢別では、「60 歳代」が 4 割を占め、「40 歳代」、「50 歳代」、「70 歳代以上」はいずれも 2 割以上が取引している（表 5 参照）

表1 企業におけるネット銀行との取引状況

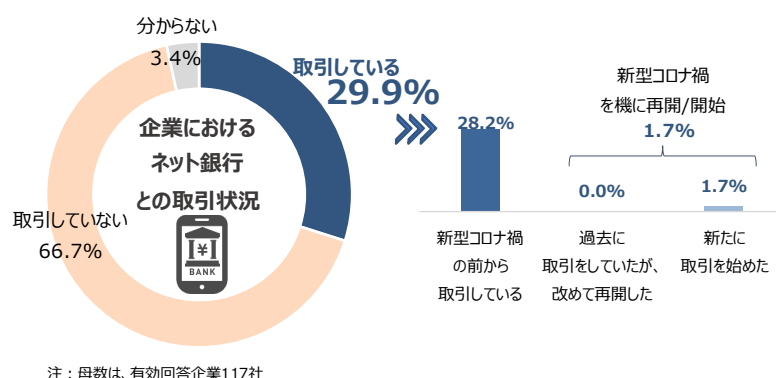


表2 ネット銀行と取引している企業割合～規模、従業員別～

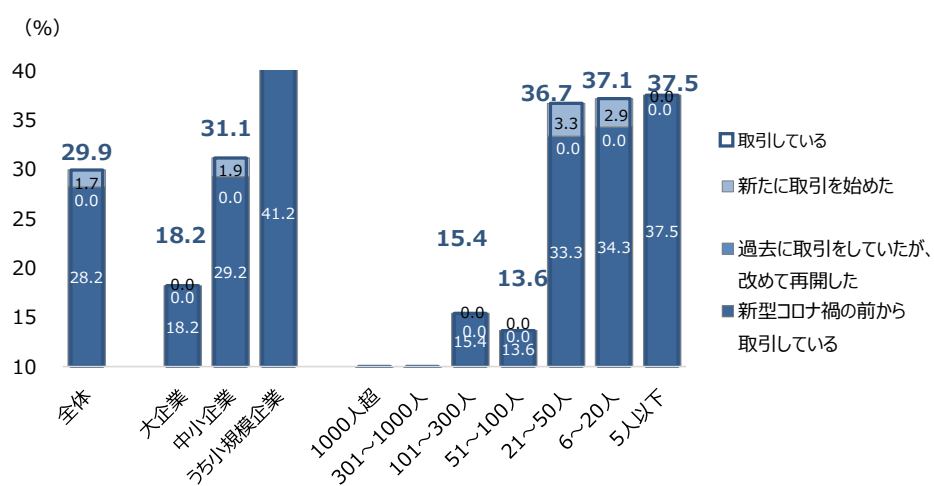


表3 ネット銀行と取引している企業割合～業界別～

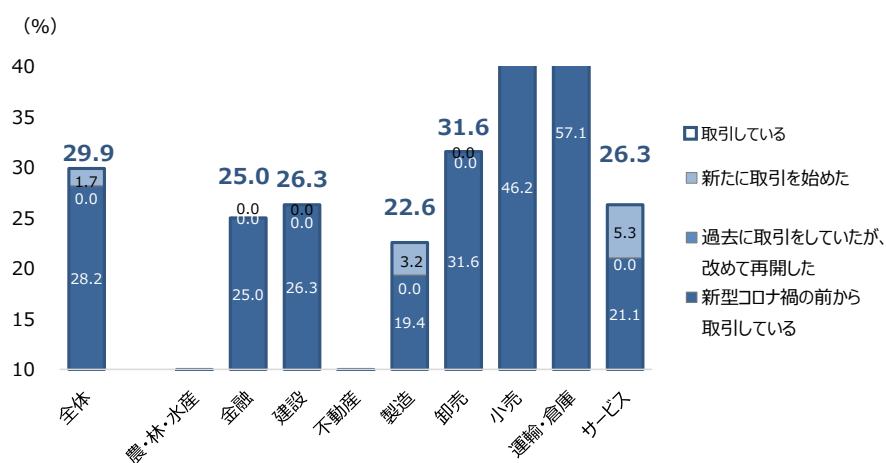
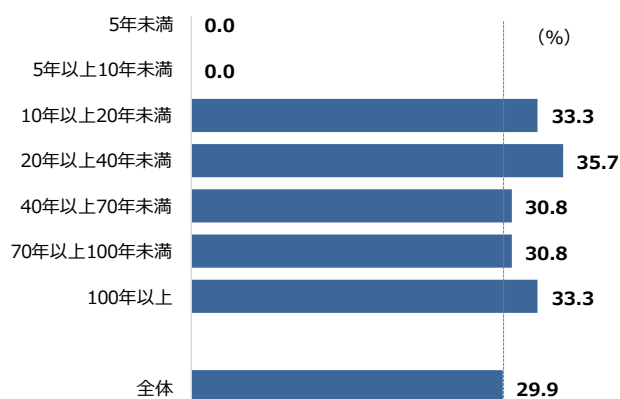
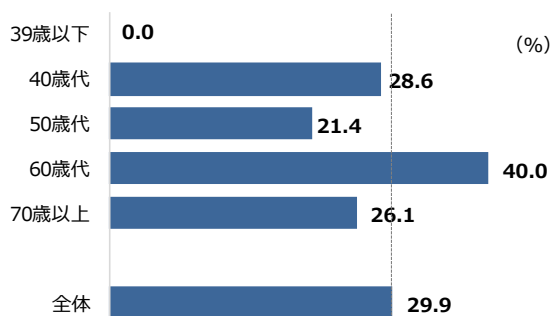


表4 ネット銀行と取引している企業割合～企業年齢別～



注：母数は、有効回答企業117社。ただし、企業年齢が「未詳」のグループは省略

表5 ネット銀行と取引している企業割合～社長年齢別～



注：母数は、有効回答企業117社。ただし、社長年齢が「未詳」のグループは省略

まとめ

ネット銀行はコスト面での優位性のほか、口座開設などは来店せずにインターネット上で完結できる高い利便性など、企業にとってメリットは大きいと言える。一方で、融資の限度額が比較的低い点や、国や地方自治体の補助金等を受け取れない場合があるなど、実店舗を持っているメガバンクや地方銀行に比したデメリットもある。

物価高騰によるコスト負担増が継続するなか、低コストが強みであるネット銀行を利用する企業はますます増加するとみられる。また、今後は金融取引における高い利便性やスピード感を求める動きが加速するほか、着々と新たなニーズも出てくると考えられる。金融機関には多様化する利用者ニーズに対応するための取り組みが求められるとともに、こうした変化に向け政府による金融業に対する規制緩和も必要となってくるであろう。

【内容に関する問い合わせ先】

(株) 帝国データバンク 郡山支店 支店長 西迫耕一郎

TEL 024-923-2442 FAX 024-922-2669

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。